

一括記録請求ファイル(共通フォーマット形式) チェック仕様

➤ 一括記録請求ファイル(集信1)のチェック仕様について記載する。なお、各項目の詳細については表付録-2に記載する。

1. チェック順序

- (1) 表 付録-2中のチェック対象が「ファイル全体」の場合
チェック処理を打ちきりファイル全体をエラーとして扱う。
- (2) 表 付録-2中のチェック対象が「ファイル全体」以外の場合
表 付録-2中の項番順に従いチェックを継続する。

2. エラーの出力先

表 付録-2中の出力先が「画面」となっているチェックはエラーメッセージを画面表示する。また、出力先が「ファイル」となっているチェックは一括記録請求結果ファイル(配信1)にエラー内容を出力する。同ファイルは、画面からのダウンロードにより取得可能である。

3. エラー単位

チェック対象が「ファイル全体」以外のチェックでエラーが発生した場合のエラー単位について、表付録-1に記載する。ダイヤルアップ集配信機能からの請求の場合には、ファイル全体をエラーとするか、または正常分のサブファイルだけ承認可能とするかをセンタ(お客様側センタ確認コード)毎に選択できる。本選択はダイヤルアップ集配信機能の利用企業情報を申込み際に申込書上の「一部エラー発生時対応区分」で指定できる。

表 付録-1 エラー単位

アップロード方法	一部エラー発生時対応区分	チェック対象が「ファイル全体」以外のチェックで エラーが発生した場合のエラー単位
①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合(既存ルート)	—	ファイル単位 (同一ファイル内の全レコードがエラー扱いとなる。)
②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	—	
③ダイヤルアップ集配信機能を使用してアップロードした場合	続行不可	サブファイル単位 (同一サブファイル内のレコードのみエラー扱いとなる。エラーの無いサブファイルについては仮登録、および承認者への承認依頼が行われる。)
	正常のみ続行	

4. 一括記録請求結果ファイル(配信1)の編集内容

データレコードの編集内容を表 付録-1-1に記載する。

(1)チェック対象が「ファイル全体」で出力先が「ファイル」のエラーの場合

一括記録請求結果ファイル(配信1)のデータレコードは1件となり、「エラーコード1」「項目番号1」に該当のエラーを設定する。

(2)チェック対象が「ファイル全体」以外で出力先が「ファイル」のエラーの場合

一括記録請求ファイル(集信1)のデータレコードの件数分、一括記録請求結果ファイル(配信1)のデータレコードを出力する。

(3)ヘッダレコードまたはトレーラレコードでチェックエラーとなった場合

一括記録請求結果ファイル(配信1)の対応するデータレコードにエラー内容を出力する。

※一括記録請求結果ファイルの詳細については、『一括記録請求結果ファイル(共通フォーマット形式)』を参照(付録 P87)

表 付録-1-1 一括記録請求結果ファイル(配信1)の編集内容

項目名	編集内容	備考
データ区分	2:データレコード	固定値
種別コード	80:発生・譲渡通知	固定値
エラー区分	1: エラー 2: エラー(連鎖)	エラー(連鎖): ①一部エラー発生時対応区分が続行不可の場合 同一ファイル内の別レコードがエラーだった場合、エラーがないレコードについてはエラー扱いとなる。 ②一部エラー発生時対応区分が正常のみ続行の場合 同一サブファイル内の別レコードがエラーだった場合、エラーがないレコードについてはエラー扱いとなる。
エラーコード1	表 付録-2中のエラーコードを設定	エラー区分が「2:エラー(連鎖)」の時、設定しない。
項目番号1	表 付録-2中の項目番号を設定	同上。
エラーコード2	表 付録-2中のエラーコードを設定	複数のエラーがある場合、チェック順に最大 2 件まで設定する。また、エラー区分が「2:エラー(連鎖)」の時、設定しない。
項目番号2	表 付録-2中の項目番号を設定	同上。
上記以外	・DENTRANS内で検出したエラーの場合は、初期値を設定 ・でんさいネットで検出したエラーの場合は、通知 IF の値を設定	

5. 保証なし譲渡の確認の流れ

一括記録請求において保証記録「無」が含まれる場合、その旨の注意喚起のメッセージを表示する。

6. 注意事項

- ・DENTRANSで行うチェックについては、DENTRANS内に保持する情報とのチェックとなるため、でんさいネット側のみに保有する情報など、でんさいネット側でのみ行うチェックも存在する。
- ・ダイヤルアップ集配信機能を使用してアップロードする場合について、テスト利用の場合についても、原則商用時と同等のチェックを行う。

チェック要否欄
 ○：チェックする
 ×：チェックしない
 △：条件に合致する場合のみ、チェックする

表 付録-2 一括記録請求ファイル(集信1)のチェック仕様(1/8)

項番	チェック対象	チェック条件	項目番号	エラーコード	出力先	チェック要否 アップロード方法			
						①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	③ダイヤルアップ集配機能を使用してアップロードした場合	
								お客様側センタ確認コードが商用の場合	お客様側センタ確認コードがテスト用の場合
1	ファイル全体 (サービス利用可否)	ファイル送信時に指定されたお客様側センタ確認コードの商用サービス終了日を過ぎていないこと。	-	KCMN1046Se	画面	×	×	○	○
2		ファイル送信時に指定されたお客様側センタ確認コードの商用サービス開始日を過ぎていないこと。	-	KCMN1047Se	画面	×	×	○	×
3		ファイル送信時に指定されたお客様側センタ確認コードに紐づく全法人IB契約内のユーザの内、ダイヤルアップ集配信(担当者権限)を保有するユーザが一人以上存在すること。	-	KCMN1038Se	画面	×	×	○	○
4		ファイル送信時に指定されたお客様側センタ確認コードに紐づく集信対象アカウントについて、すべてのアカウントの法人IB契約が同一の法人IB契約であること。(予約中の情報を含まない。)	-	KCMN1064Se	画面	×	×	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 2、4、6、8、10、12のいずれかに該当する場合	×
5		ファイル送信時に指定されたお客様側センタ確認コードに紐づく集信対象アカウントについて、すべてのアカウントの法人IB契約が同一の法人IB契約であること。(予約中の情報を含む。)	-	KCMN1064Se	画面	×	×	×	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 2、4、6、8、10、12のいずれかに該当する場合
6	ファイル全体	ファイルサイズが上限を超えていないこと。	-	KCMN1054Se	画面	○	○	○	○
7		ファイル内にデータが存在すること。	-	KCMN1031SE	ファイル	○	○	○	○
8		レコード長が250バイトであること。	-	KCMN1001SE	ファイル	○	○	○	○
9		ファイルの先頭がヘッダレコードであること。	H01	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
10		エンドレコードが存在すること。	E01	KCMN1011SE	ファイル	○	○	○	○
11		ヘッダレコードの場合、先頭にあるか、前のレコードがトレーラレコードであること。	H01	KCMN1003SE	ファイル	○	○	○	○
12		データレコードの場合、前のレコードがヘッダレコードかデータレコードであること。	D01	KCMN1003SE	ファイル	○	○	○	○
13		トレーラレコードの場合、前のレコードがデータレコードであること。	T01	KCMN1003SE	ファイル	○	○	○	○
14		エンドレコードの場合、前のレコードがトレーラレコードであること。	E01	KCMN1003SE	ファイル	○	○	○	○
15		項番6~14のチェックにエラーがない場合、データレコードの件数が1,000件以内であること。	-	KCMN1008Se	画面	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 5~12のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 9~12のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 9~12のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 9~12のいずれかに該当する場合
16		項番6~14のチェックにエラーがない場合、データレコードの件数が各金融機関で設定された上限件数(注1)以内であること。	-	KCMN1039Se	画面	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 1~4のいずれかに該当する場合	×	×	×
17		項番6~14のチェックにエラーがない場合、サブファイルごとのデータレコードの件数が1,000件以内であること。	-	KCMN1040Se	画面	×	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 1~8のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 1~8のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 1~8のいずれかに該当する場合
18		項番6~14のチェックにエラーがない場合、ファイル内のヘッダレコードの数が30以内であること。	-	KCMN1041Se	画面	×	○	○	○
19		項番6~14のチェックにエラーがない場合、ファイル内の全データレコードの件数が20,000件以内であること。	-	KCMN1042Se	画面	×	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 1~8のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 1~8のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 1~8のいずれかに該当する場合

表 付録-2 一括記録請求ファイル（集信1）のチェック仕様（2/8）

項番	チェック対象	チェック条件	項目番号	エラーコード	出力先	チェック要否 アップロード方法			
						①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	③ダイヤルアップ集配機能を使用してアップロードした場合	
								お客様側センタ確認コードが商用の場合	お客様側センタ確認コードがテスト用の場合
20	種別コード	種別コードが指定されていること。	H02	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
21		種別コードが半角数字であること。	H02	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
22		種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”または譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”のいずれかであること。	H02	KCMN1005SE	ファイル	○	○	○	○
23	文字コード区分	文字コード区分が指定されていること。	H03	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
24		文字コード区分が半角数字であること。	H03	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
25		文字コード区分がJIS“0”またはEBCDIC“1”であること。	H03	KCMN1005SE	ファイル	○	○	○	○
26	記録請求日	記録請求日が指定されていること。	H04	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
27		記録請求日が8桁かつ半角数字であること。	H04	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
28		記録請求日が実在する日付であること。	H04	KCMN1005SE	ファイル	○	○	○	○
29	請求者情報					—	—	—	—
30	利用者番号	請求者情報の利用者番号が指定されていること。	H05	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
31		請求者情報の利用者番号が9桁かつ半角英数字であること。	H05	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
32		請求者情報の利用者番号がファイル内で同一であること。	H05	KCMN1055SE	ファイル	×	△ 【チェック実行条件】 （注11）パターンNo. 1、2、5、6、9、10のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 （注11）パターンNo. 2、6、10のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 （注11）パターンNo. 2、6、10のいずれかに該当する場合
33	法人名/個人事業者名カナ	請求者情報の法人名/個人事業者名カナがシステムで規定された半角文字（注2）であること。	H06	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
34	金融機関コード	請求者情報の金融機関コードが指定されていること。	H07	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
35		請求者情報の金融機関コードが4桁かつ半角数字であること。	H07	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
36	金融機関名カナ	請求者情報の金融機関名カナがシステムで規定された半角文字（注2）であること。	H08	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
37	支店コード	請求者情報の支店コードが指定されていること。	H09	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
38		請求者情報の支店コードが3桁かつ半角数字であること。	H09	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
39	支店名カナ	請求者情報の支店名カナがシステムで規定された半角文字（注2）であること。	H10	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
40	預金種目	請求者情報の預金種目が指定されていること。	H11	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
41		請求者情報の預金種目が半角数字であること。	H11	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
42		請求者情報の預金種目が普通“1”または当座“2”またはその他“9”であること。	H11	KCMN1005SE	ファイル	○	○	○	○
43	口座番号	請求者情報の口座番号が指定されていること。	H12	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
44		請求者情報の口座番号が7桁かつ半角数字であること。	H12	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
45		請求者情報の口座番号がシステムに登録されていること。（予約中の情報を含まない。）	H12	KCMN1013SE	ファイル	○	○	○	×
46		請求者情報の口座番号がシステムに登録されていること。（予約中の情報を含む。）	H12	KCMN1048SE	ファイル	×	×	×	○

ハッターコード

表 付録-2 一括記録請求ファイル（集信1）のチェック仕様（3/8）

項番	チェック対象	チェック条件	項目番号	エラーコード	出力先	チェック要否 アップロード方法				
						①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	③ダイヤルアップ集配機能を使用してアップロードした場合		
								お客様側センタ確認コードが商用の場合	お客様側センタ確認コードがテスト用の場合	
47	ヘッダレコード 口座番号	依頼者および承認者が請求者情報の口座番号に対する権限を保有していること。	H12	KCMN1014SE	ファイル	○	○	△ 承認時のみチェックする。（ダイヤルアップ集配機能を利用する場合、仮登録時は依頼者が存在しないため。）	×	
48		指定した承認者が請求者情報の口座番号に対する権限を保有していること。	-	KCOM1266SE KCOM1267SE (注10)	画面	△ 仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo. 1、2、5、6のいずれかに該当する場合	△ 仮登録のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo. 1、2、5、6のいずれかに該当する場合	×	×	
49		指定した最終承認者が請求者情報の口座番号に対する権限を保有していること。	-	KCOM1268SE	画面	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo. 2、6のいずれかに該当する場合	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo. 2、6のいずれかに該当する場合	×	×	
50		請求者情報の口座番号に対する権限および承認者権限を保有するユーザが存在すること。	-	KCOM1270SE KCOM1271SE (注10)	画面	△ 仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo. 3、4、7のいずれかに該当する場合	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo. 3、4、7のいずれかに該当する場合	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo. 4に該当する場合	×	
51		請求者情報の口座番号がファイル内で同一であること。	H12	KCMN1007SE	ファイル	○	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 3、4、7、8、11、12のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 3、4、7、8、11、12のいずれかに該当する場合	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 3、4、7、8、11、12のいずれかに該当する場合	
52		請求者情報の口座番号が、ファイル送信時に指定されたお客様側センタ確認コードに、集信対象アカウントとして申込されているアカウント配下の口座であること。	H12	KCMN1043Se	ファイル	×	×	○	○	
53		請求者情報の口座番号が紐づく集信対象アカウントの商用サービス開始日を過ぎていること。	H12	KCMN1043Se	ファイル	×	×	○	×	
54		請求者情報の口座番号が紐づく集信対象アカウントの商用サービス終了日を過ぎていること。	H12	KCMN1043Se	ファイル	×	×	○	○	
55		請求者情報の口座番号が、法人IB契約のある口座であること。（予約中の情報を含まない。）	H12	KCMN1044Se	ファイル	×	×	○	×	
56		請求者情報の口座番号が、法人IB契約のある口座であること。（予約中の情報を含む。）	H12	KCMN1049Se	ファイル	×	×	×	○	
57		請求者情報の口座番号が、同一IB契約内の口座であること。（予約中の情報を含まない。）	H12	KCMN1056Se	ファイル	×	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 1、2、5、6、9、10のいずれかに該当する場合 ただし、金融機関ユーザが非法人IB企業の代行で請求する場合はチェックしない。	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 2、6、10のいずれかに該当する場合	×	
58		請求者情報の口座番号が、同一IB契約内の口座であること。（予約中の情報を含む。）	H12	KCMN1057Se	ファイル	×	×	×	△ 【チェック実行条件】 (注11)パターンNo. 2、6、10のいずれかに該当する場合	
59		利用者番号	請求者情報の利用者番号が、請求者情報の口座番号が属する利用者番号であること。（予約中の情報を含まない。）	H05	KCMN1015SE	ファイル	○	○	○	×
60			請求者情報の利用者番号が、請求者情報の口座番号が属する利用者番号であること。（予約中の情報を含む。）	H05	KCMN1050SE	ファイル	×	×	×	○
61	種別コード	種別コードが発生記録請求（債権者請求方式）“12”の場合、金融機関および利用者の発生記録債権者請求方式取扱可否が“可”であること。（予約中の情報を含まない。）（注3）	H02	KCMN1033SE	ファイル	○	○	○	×	
62		種別コードが発生記録請求（債権者請求方式）“12”の場合、金融機関および利用者の発生記録債権者請求方式取扱可否が“可”であること。（予約中の情報を含む。）（注3）	H02	KCMN1051SE	ファイル	×	×	×	○	
63		種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”の場合、利用者の債務者利用可否が“可”であること。（予約中の情報を含まない。）（注4）	H02	KCMN1034SE	ファイル	○	○	○	×	
64		種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”の場合、利用者の債務者利用可否が“可”であること。（予約中の情報を含む。）（注4）	H02	KCMN1052SE	ファイル	×	×	×	○	

表 付録-2 一括記録請求ファイル（集信1）のチェック仕様（4/8）

項番	チェック対象	チェック条件	項目番号	エラーコード	出力先	チェック要否 アップロード方法				
						①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	③ダイヤルアップ集配機能を使用してアップロードした場合		
								お客様側センタ確認コードが商用の場合	お客様側センタ確認コードがテスト用の場合	
65	ヘッダレコード	記録請求日	記録請求日が当日以降かつ当日の1ヶ月後以内の日付であること。	H04	KCMN1028SE	ファイル	○	○	○	○
66		記録請求日が当日の場合、一括記録請求の取引時限を過ぎていないこと。			(注7)	金融機関オプション「一括記録請求時限チェック有無」の利用有無が「利用する」の場合のみチェックする。	金融機関オプション「一括記録請求時限チェック有無」の利用有無が「利用する」場合のみチェックする。	金融機関オプション「一括記録請求時限チェック有無」の利用有無が「利用する」場合のみチェックする。		×
67	データレコード	取引相手情報					-	-	-	-
68		利用者番号	取引相手情報の利用者番号が指定されていること。	D02	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
69			取引相手情報の利用者番号が9桁かつ半角英数字であること。	D02	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
70		金融機関コード	取引相手情報の金融機関コードが指定されていること。	D03	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
71			取引相手情報の金融機関コードが4桁かつ半角数字であること。	D03	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
72		金融機関名カナ	取引相手情報の金融機関名カナがシステムで規定された半角文字（注2）であること。	D04	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
73		支店コード	取引相手情報の支店コードが指定されていること。	D05	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
74			取引相手情報の支店コードが3桁かつ半角数字であること。	D05	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
75		支店名カナ	取引相手情報の支店名カナがシステムで規定された半角文字（注2）であること。	D06	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
76		預金種目	取引相手情報の預金種目が指定されていること。	D07	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
77			取引相手情報の預金種目が半角数字であること。	D07	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
78			取引相手情報の預金種目が普通“1”または当座“2”またはその他“9”であること。	D07	KCMN1005SE	ファイル	○	○	○	○
79		口座番号	種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合、かつ請求者が金融機関以外の利用者である場合、【共通サービス仕様-業務（融資：共通2）】の「金融機関譲渡口座宛への譲渡記録請求抑止有無」で「自行内の譲渡記録請求を認めない」を選択した場合、取引相手情報に指定された口座が融資譲渡口座でないこと。	D08	KCMN1017SE	ファイル	○	○	○	○
80			取引相手情報の口座番号が指定されていること。	D08	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
81			取引相手情報の口座番号が7桁かつ半角数字であること。	D08	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
82		債権金額	債権金額が指定されていること。	D09	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
83			債権金額が半角数字であること。	D09	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
84		支払期日	種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”の場合、支払期日が指定されていること。	D10	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
85	種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”の場合、支払期日が8桁かつ半角数字であること。		D10	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	
86	種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”の場合、支払期日が実在する日付であること。		D10	KCMN1005SE	ファイル	○	○	○	○	
87	種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合、支払期日が指定されていないこと。		D10	KCMN1006SE	ファイル	○	○	○	○	
88	譲渡制限有無フラグ	種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合、譲渡制限有無フラグが指定されていないこと。	D11	KCMN1006SE	ファイル	○	○	○	○	
89		譲渡制限有無フラグが半角数字であること。	D11	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	
90		譲渡制限有無フラグが制限なし“0”または金融機関のみに制限“1”であること。	D11	KCMN1005SE	ファイル	○	○	○	○	

表 付録-2 一括記録請求ファイル（集信1）のチェック仕様（5/8）

項番	チェック対象	チェック条件	項目番号	エラーコード	出力先	チェック要否 アップロード方法			
						①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	③ダイヤルアップ集配機能を使用してアップロードした場合	
								お客様側センタ確認コードが商用の場合	お客様側センタ確認コードがテスト用の場合
91	記録番号	種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”の場合、記録番号が指定されていないこと。	D12	KCMN1006SE	ファイル	○	○	○	○
92		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合、記録番号が指定されていること。	D12	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
93		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合、記録番号が20桁かつ半角英数字であること。	D12	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
94	保証随伴フラグ	種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”の場合、保証随伴フラグが指定されていないこと。	D13	KCMN1006SE	ファイル	○	○	○	○
95		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合かつ請求者が金融機関以外の利用者である場合、以下の条件であること。 ①【共通サービス仕様-業務】の「利用者からの保証なし譲渡可否（流動化支援）」で「利用者からの保証なし譲渡を利用しない」を選択した場合、保証随伴フラグが<1:有>であること。 ②【共通サービス仕様-業務】の「利用者からの保証なし譲渡可否（流動化支援）」で「利用者からの保証なし譲渡を利用する」を選択し、かつ、【追加機能情報-共通サービス仕様-業務】の「利用者からの保証なし譲渡可否（流動化支援）詳細」で「通常請求による譲渡記録請求のみ」を選択した場合、保証随伴フラグが<1:有>であること。	D13	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
		96	保証随伴フラグが半角数字であること。	D13	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○
97		保証随伴フラグが無“0”または有“1”であること。	D13	KCMN1005SE	ファイル	○	○	○	○
98	依頼人Ref. No.	数字（0～9）、英大文字（A～Z）と半角括弧、ピリオド、ハイフン（().-）のいずれかであること。 左詰め残りは半角スペースであること。	D14	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○
99	支払期日	種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”の場合、支払期日が以下の範囲内であること。 ①ヘッダレコードの記録請求日が営業日の場合 記録請求日の6営業日後<支払期日≤記録請求日の1年後 ②ヘッダレコードの記録請求日が非営業日の場合 記録請求日の7営業日後<支払期日≤記録請求日の1年後	D10	KCMN1029SE	ファイル	○	○	○	○
100	取引相手情報					-	-	-	-
101	支店コード	支店コードが金融機関支店情報の支店コードと一致すること。	D05	KCMN1030SE	ファイル	○	○	○	○
101-1	記録番号	種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合、以下の条件であること。 ①【記録請求/開示】の「発生予約中債権の譲渡予約の制限機能の利用有無」が「利用する」の場合、該当の記録番号が記録日を迎えていること。（注12）	D12	KCMN1066SE	ファイル	○	○	○	○
102		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合、同一債権に対する請求が競合していないこと。（注5）	D12	KCMN1016SE	ファイル	○	○	○	○
103		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”の場合、当該データレコードより前のサブファイルのデータレコードの中に、同一記録番号が存在しないこと。	D12	KCMN1045Se	ファイル	×	○	○	○

表 付録-2 一括記録請求ファイル（集信1）のチェック仕様（6/8）

項番	チェック対象	チェック条件	項目番号	エラーコード	出力先	チェック要否 アップロード方法				
						①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	③ダイヤルアップ集配機能を使用してアップロードした場合		
								お客様側センタ確認コードが商用の場合	お客様側センタ確認コードがテスト用の場合	
104	ト レ ー ラ レ コ ー ド	合計件数	合計件数が指定されていること。	T02	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
105		合計件数が半角数字であること。	T02	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	
106		合計金額	合計金額が指定されていること。	T03	KCMN1004SE	ファイル	○	○	○	○
107		合計金額が半角数字であること。	T03	KCMN1002SE	ファイル	○	○	○	○	
108		合計件数	合計件数がデータレコードの件数の合計と一致すること。	T02	KCMN1009SE	ファイル	○	○	○	○
109		合計金額	合計金額がデータレコードの債権金額の合計と一致すること。	T03	KCMN1010SE	ファイル	○	○	○	○
110	ファイル全体	項番7～14および20～47、51～107のチェックにエラーがないこと。	-	KCMN1012Se	画面	○	○	○	○	
111		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”のデータレコードの中に、保証随伴フラグが《0:無》のデータレコードが存在しないこと。（注6）	-	- （注6）	画面 （注6）	○	○	○	○	
112	ファイル全体（取引一回当たり限度額）	指定した承認者のユーザの取引一回当たり限度額に対するチェック				-	-	-	-	
113		全トレーラレコードの合計金額の合計が、指定した承認者に設定されている取引一回当たり限度額（一括）以下であること。	-	KCOM1266SE KCOM1267SE （注10）	画面	△ 仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 （注9）パターンNo. 1、2のいずれかに該当する場合	×	×	×	
114		全トレーラレコードの合計金額が、指定した承認者に設定されている取引一回当たり限度額（一括）以下であること。	-	KCOM1266SE	画面	×	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 （注9）パターンNo. 1、2のいずれかに該当する場合	×	×	
115		種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”のデータレコードの債権金額が、指定した承認者に設定されている取引一回当たり限度額（発生）以下であること。	-	KCOM1266SE KCOM1267SE （注10）	画面	△ 仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 （注9）パターンNo. 1、2のいずれかに該当する場合	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 （注9）パターンNo. 1、2のいずれかに該当する場合	×	×	
116		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”のデータレコードの債権金額が、指定した承認者に設定されている取引一回当たり限度額（譲渡・分割）以下であること。	-	KCOM1266SE KCOM1267SE （注10）	画面	△ 仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 （注9）パターンNo. 1、2のいずれかに該当する場合	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 （注9）パターンNo. 1、2のいずれかに該当する場合	×	×	

表 付録-2 一括記録請求ファイル（集信1）のチェック仕様（7/8）

項番	チェック対象	チェック条件	項目番号	エラーコード	出力先	チェック要否			
						アップロード方法			
						①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	③ダイヤルアップ集配機能を使用してアップロードした場合	
		お客様側センタ確認コードが商用の場合	お客様側センタ確認コードがテスト用の場合						
117	ファイル全体（取引一回当たり限度額）	取引一回当たり限度額を満たすユーザの存在チェック				-	-	-	-
118		全トレーラレコードの合計金額の合計以上の、取引一回当たり限度額（一括）が設定されているユーザが存在すること。	-	KCOM1270SE KCOM1271SE (注10)	画面	△ 仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	×	×	×
119		全トレーラレコードの合計金額以上の、取引一回当たり限度額（一括）が設定されているユーザが存在すること。	-	KCOM1270SE	画面	×	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	×	×
120		全トレーラレコードの合計金額以上の、取引一回当たり限度額（ダイヤルアップ集配信）が設定されているユーザが存在すること。（注8）	-	KCOM1273SE (注8)	画面 (注8)	×	×	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 4に該当する場合	×
121		種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”のデータレコードの債権金額以上の、取引一回当たり限度額（発生）が設定されているユーザが存在すること。	-	KCOM1270SE KCOM1271SE (注10)	画面	△ 仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	×	×
122		種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”のデータレコードの債権金額以上の、取引一回当たり限度額（発生）が設定されているユーザが存在すること。（注8）	-	KCOM1273SE (注8)	画面 (注8)	×	×	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 4に該当する場合	×
123		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”のデータレコードの債権金額以上の、取引一回当たり限度額（譲渡・分割）が設定されているユーザが存在すること。	-	KCOM1270SE KCOM1271SE (注10)	画面	△ 仮登録・修正時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 3、4のいずれかに該当する場合	×	×
124		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”のデータレコードの債権金額以上の、取引一回当たり限度額（譲渡・分割）が設定されているユーザが存在すること。（注8）	-	KCOM1273SE (注8)	画面 (注8)	×	×	△ 仮登録時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 4に該当する場合	×
125		承認者自身の取引一回当たり限度額に対するチェック				-	-	-	-
126		全トレーラレコードの合計金額の合計が、承認者に設定されている取引一回当たり限度額（一括）以下であること。	-	KCOM1272SE	画面	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 1～4のいずれかに該当する場合	×	×	×
127		トレーラレコードの合計金額が、承認者に設定されている取引一回当たり限度額（一括）以下であること。	-	KCOM1272SE	画面	×	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 1～4のいずれかに該当する場合	×	×
128		トレーラレコードの合計金額が、承認者に設定されている取引一回当たり限度額（ダイヤルアップ集配信）以下であること。	-	KCOM1272SE	画面	×	×	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 4に該当する場合	×
129		種別コードが発生記録請求（債務者請求方式）“11”または発生記録請求（債権者請求方式）“12”のデータレコードの債権金額が、いずれも、承認者に設定されている取引一回当たり限度額（発生）以下であること。	-	KCOM1272SE	画面	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 1～4のいずれかに該当する場合	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 1～4のいずれかに該当する場合	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 4に該当する場合	×
130		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”のデータレコードの債権金額が、いずれも、承認者に設定されている取引一回当たり限度額（譲渡・分割）以下であること。	-	KCOM1272SE	画面	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 1～4のいずれかに該当する場合	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 1～4のいずれかに該当する場合	△ 承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9) パターンNo. 4に該当する場合	×

表 付録-2 一括記録請求ファイル(集信1)のチェック仕様(8/8)

項番	チェック対象	チェック条件	項目番号	エラーコード	出力先	チェック要否 アップロード方法			
						①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	③ダイヤルアップ集配機能を使用してアップロードした場合	
								お客様側センタ確認コードが商用の場合	お客様側センタ確認コードがテスト用の場合
131	ファイル全体(取引一回当たり限度額)	指定した最終承認者の取引一回当たり限度額に対するチェック				-	-	-	-
132		全トレーラレコードの合計金額の合計が、指定した最終承認者の取引一回当たり限度額(一括)以下であること。	-	KCOM1268SE	画面	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo.2に該当する場合	×	×	×
133		トレーラレコードの合計金額が、指定した最終承認者の取引一回当たり限度額(一括)以下であること。	-	KCOM1268SE	画面	×	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo.2に該当する場合	×	×
134		種別コードが発生記録請求(債務者請求方式)“11”または発生記録請求(債権者請求方式)“12”のデータレコードの債権金額が、いずれも、指定した最終承認者に設定されている取引一回当たり限度額(発生)以下であること。	-	KCOM1268SE	画面	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo.2に該当する場合	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo.2に該当する場合	×	×
135		種別コードが譲渡記録請求“20”または分割記録請求“30”のデータレコードの債権金額が、いずれも、指定した最終承認者に設定されている取引一回当たり限度額(譲渡・分割)以下であること。	-	KCOM1268SE	画面	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo.2に該当する場合	△ 一次承認時のみチェックする。 【チェック実行条件】 (注9)パターンNo.2に該当する場合	×	×

(注1) 利用申込にて、金融機関オプション「一括記録請求ファイルの上限値設定機能」を「利用する」で申し込む際に、各金融機関ごとに設定する。
(注2) DENTRANSにて利用可能な半角文字を「表 システム規定半角文字」に示す。なお、DENTRANSにて半角文字を入力する場合、Shift-JISコード文字のうち「JIS X 0201」規格で制定されているもののみ利用可能とする。

表 システム規定半角文字

半角文字					
a	A	ア	マ	0]
b	B	イ	ミ	1	¥
c	C	ウ	ム	2	*
d	D	エ	メ	3)
e	E	オ	モ	4	;
f	F	カ	ヤ	5	-
g	G	キ	ユ	6	/
h	H	ク	ヨ	7	^
i	I	ケ	ヲ	8	,
j	J	コ	リ	9	%
k	K	サ	ル	▲*	-
l	L	シ	レ	。	>
m	M	ス	ロ	↑	?
n	N	セ	リ	↓	:
o	O	ソ	ヲ	、	#
p	P	タ	ン	・	@
q	Q	チ	ア	['
r	R	ツ	イ	.	=
s	S	テ	ウ	<	”
t	T	ト	エ	(”
u	U	ナ	オ	+	°
v	V	ニ	ツ	!	{
w	W	ヌ	ヤ	&	}
x	X	ネ	ユ	~	\$
y	Y	ノ	ヨ		
z	Z	ハ			
		ヒ			
		フ			
		ハ			
		ホ			

* ▲は半角スペース

- (注3) 金融機関申込および利用者登録時に設定する。
(注4) 利用者登録時に設定する。
(注5) 一括記録請求ファイル(集信1)内の同一債権に対してはチェックしない。
(注6) 注意喚起のためのチェックであり、保証随伴フラグが《0:無》のデータレコードが存在する場合でもエラーにはしない。保証随伴フラグが《0:無》のデータレコードが存在する場合の、アップロード方法に応じて以下のとおり出し分けを行う。

アップロード方法	出力方法
①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合	画面上に「債権を譲渡するにあたり、保証を行いません。」のメッセージと、内容を確認した旨のチェックボックスを表示し、「仮登録の実行」ボタンを押下する際、チェックボックスへのチェックを必須とする。
②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合	画面上に「債権を譲渡するにあたり、保証を行いません。」のメッセージと、内容を確認した旨のチェックボックスを表示し、「承認依頼の実行」ボタンを押下する際、チェックボックスへのチェックを必須とする。
③ダイヤルアップ集配信機能を使用してアップロードした場合	画面上に保証随伴フラグが《0:無》のデータレコードが存在する旨のメッセージのみを表示する。

(注7) 項目番号、エラーコード、出力先については、アップロード方法に応じて以下のとおり出し分けを行う。

- (1) 注意喚起/エラーの出力先
①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合
注意喚起、エラー共に画面に出力する。

取扱時限 付近の場合の チェック有無	仮登録もしくは承認の操作を行った時刻						
	14:00 以前	14:00 超過 14:30 以前		14:30 超過 15:00 以前		15:00 超過	
	チェック結果	チェック結果	注意喚起 /エラーの出力先		チェック結果	注意喚起 /エラーの出力先	
仮登録時			承認時	仮登録時		承認時	仮登録時
チェックなし	続行可	続行可	-		続行可	-	
チェックあり (続行可能)	続行可	注意喚起 (続行可)	画面		注意喚起 (続行可)	画面	
チェックあり (続行不可)	続行可	注意喚起 (続行可)	画面		エラー (続行不可)	画面	

②一括記録メニュー画面にて、「非同期登録」ボタンを選択してアップロードした場合

『①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合』と同様に、バッチでの仮登録処理の完了後、結果通知画面にて担当者による内容確認を行い、承認者による承認を行うフローとなる。そのため、注意喚起/エラーの出力先についても『①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合』と同様に、注意喚起、エラー共に画面に出力する。

取扱時限 付近の場合の チェック有無	仮登録もしくは承認の操作を行った時刻									
	14:00 以前	14:00 超過 14:30 以前		14:30 超過 15:00 以前		15:00 超過				
	チェック結果	チェック結果	注意喚起 /エラーの出力先		チェック結果	注意喚起 /エラーの出力先		チェック結果	注意喚起 /エラーの出力先	
仮登録時			承認時	仮登録時		承認時	仮登録時		承認時	
チェックなし	続行可	続行可	—	—	続行可	—	—	続行可	—	—
チェックあり (続行可能)	続行可	注意喚起 (続行可)	画面		注意喚起 (続行可)	画面		エラー (続行不可)	画面	
チェックあり (続行不可)	続行可	注意喚起 (続行可)	画面		エラー (続行不可)	画面		エラー (続行不可)	画面	

③ダイヤルアップ集配機能を使用してアップロードした場合（チェックはお客様側センタ確認コードが商用の場合のみ実施）

<仮登録時>

- ・チェック結果が注意喚起の場合、当該チェックの完了時には既に承認者への承認依頼通知がされており、承認者側で時限間際であることを注意喚起すればよいため、仮登録時は注意喚起のメッセージは出力しないこととする。
- ・チェック結果がエラーの場合、企業のオプション利用状況によって正常分のサブファイルだけ続行させることも可能であるため、エラーは画面ではなくエラーファイル内の該当レコードに出力する。

<承認時>

『①一括記録メニュー画面にて、「登録」ボタンを選択してアップロードした場合』と同様に、注意喚起、エラー共に画面に出力する。

取扱時限 付近の場合の チェック有無	仮登録もしくは承認の操作を行った時刻									
	14:00 以前	14:00 超過 14:30 以前			14:30 超過 15:00 以前			15:00 超過		
	チェック結果	チェック結果	注意喚起 /エラーの出力先		チェック結果	注意喚起 /エラーの出力先		チェック結果	注意喚起 /エラーの出力先	
仮登録時			承認時	仮登録時		承認時	仮登録時		承認時	
チェックなし	続行可	続行可	—	—	続行可	—	—	続行可	—	—
チェックあり (続行可能)	続行可	注意喚起 (続行可)	—	画面	注意喚起 (続行可)	—	画面	エラー (続行不可)	ファイル	画面
チェックあり (続行不可)	続行可	注意喚起 (続行可)	—	画面	エラー (続行不可)	ファイル	画面	エラー (続行不可)	ファイル	画面

(2) 項目番号、エラーコード

チェック結果と出力先に応じて、出し分けを行う。

チェック結果	出力先	項目番号	エラーコード
注意喚起 (続行可)	画面	—	KCMN1019Si または KCMN1020Si
エラー (続行不可)	画面	—	KCMN1018Se
	ファイル	H04	KCMN1018SE

(注8) 注意喚起のためのチェックであり、ユーザが存在しない場合でもエラーにはせず、仮登録のバッチ処理時点で承認可能なユーザが存在しない旨を、仮登録結果通知画面に表示する。

(注9) チェック実行条件のパターンを下表に示す。

【前提】

本チェックについては、操作ユーザが法人IBユーザの場合（法人IBからの操作の場合）のみ行う。

パターン No	概要	一括記録請求における各機能の利用状況			利用状況における、オプション、企業情報の登録内容						その他条件
		詳細			金融機関申込			企業情報管理の設定値			
		取引一回当たり 限度額管理機能	同一ユーザによる 仮登録/承認の 抑止機能	承認管理機能 (承認者指定の 利用)	取引一回当たり 限度額管理機能	同一ユーザによる 仮登録/承認の 抑止機能	承認管理機能	同一ユーザによる 仮登録/承認の 抑止機能の 利用有無	承認管理機能の 利用有無	一括業務の 「承認機能区分」	
1	全ての機能を利用し、シングル承認の場合	○	○	○ (1名指定)	利用する	利用する	利用する	利用する	利用する	シングル承認 (承認者指定あり)	
2	全ての機能を利用し、ダブル承認の場合	○	○	○ (2名指定)	利用する	利用する	利用する	利用する	利用する	「ダブル承認（順序なし）」または「ダブル承認（順序あり）」	「ダブル承認（順序あり）」の場合、一次承認者に関するファイル全体（取引一回当たり限度額）のチェックは行わない。
3	限度額管理機能と同一ユーザによる仮登録/承認の抑止機能を利用する場合	○	○	×	利用する	利用する	利用する	利用する	利用する	シングル承認 (承認者指定なし)	
							利用しない	利用する	-	-	
4	限度額管理機能のみ、利用する場合	○	×	×	利用する	利用する	利用する	利用しない	-	-	
						利用しない	利用しない	-	-		
5	同一ユーザによる仮登録/承認の抑止機能と承認管理機能を利用し、シングル承認の場合	×	○	○ (1名指定)	利用しない	利用する	利用する	利用する	利用する	シングル承認 (承認者指定あり)	
6	同一ユーザによる仮登録/承認の抑止機能と承認管理機能を利用し、ダブル承認の場合	×	○	○ (2名指定)	利用しない	利用する	利用する	利用する	利用する	「ダブル承認（順序なし）」または「ダブル承認（順序あり）」	
7	同一ユーザによる仮登録/承認の抑止機能のみ、利用する場合	×	○	×	利用しない	利用する	利用する	利用する	利用する	シングル承認 (承認者指定なし)	
							利用しない	利用する	-	-	
8	全ての機能を利用しない場合	×	×	×	利用しない	利用する	利用する	利用しない	-	-	
						利用しない	利用しない	-	-		

【凡例】

○：当該機能を利用する。（）内は、承認管理機能において、指定承認者として指定する承認者数を示す。

×：当該機能を利用しない

-：企業情報にて登録不可能。当該パターンとしては「利用しない」と同等の挙動となる。

(注10) エラーコードが複数定義されているが、チェック対象のデータの違いであり、一度のチェックで複数のエラーコードが表示されるわけではない。

(注11) ダイアルアップ集配機能のサブオプション（金融機関オプション）の申込状況に応じてチェックを実行する。
 チェック実行条件のパターンを下表に示す。

パターンNo	金融機関オプションの申込状況				
	ダイアルアップ集配機能の利用有無	ダイアルアップ集配機能のサブオプション			
		一括記録請求ファイルの上限値引き上げ機能	一括記録請求ファイルの上限値設定機能	一括記録請求ファイルへのマルチ口座設定機能	ダイアルアップ集配信におけるマルチ契約口座伝送機能
1	利用する	利用する	利用する	利用する	利用する
2				利用しない	
3				利用する	
4				利用しない	
5				利用する	
6				利用しない	
7		利用しない	利用しない	利用する	利用する
8				利用しない	
9				利用する	利用する
10				利用しない	
11				利用する	
12				利用しない	

(注12) 一括記録において、発生予約中債権の譲渡予約を制限できないケース
 一括記録については、でんさいネットから受領した、DENTRANS内の発生記録通知に基づき、発生予約中債権の譲渡予約の制限を実施する。
 そのため、例外的なケースにおいて、発生予約中債権の譲渡予約の制限が出来ない。
 詳細を以下に示す。
 ①発生記録通知を受け取る前に、一括記録による譲渡記録請求（予約）を実施した場合。
 （通常、発生記録通知を受け取らないと、記録番号が不明のため、このような取引は困難。）
 ②発生記録通知を受領後、分割・付替等で、利用者番号が変更になった場合。
 （異動後の利用者には、発生記録通知が存在しない状態となるため。）

取扱期限 付近の場合の チェック有無	14:00 以前	14:00 超過 14:30 以前			14:30 超過 15:00 以前			15:00 超過		
	チェック結果	チェック結果	注意喚起 /エラーの出力先		チェック結果	注意喚起 /エラーの出力先		チェック結果	注意喚起 /エラーの出力先	
			仮登録時	承認時		仮登録時	承認時		仮登録時	承認時
チェックなし	続行可	続行可	—	—	続行可	—	—	続行可	—	—
チェックあり (続行可能)	続行可	注意喚起 (続行可)	—	画面	注意喚起 (続行可)	—	画面	エラー (続行不可)	ファイル	画面
チェックあり (続行不可)	続行可	注意喚起 (続行可)	—	画面	エラー (続行不可)	ファイル	画面	エラー (続行不可)	ファイル	画面

(2) 項目番号、エラーコード
チェック結果と出力先に応じて、出し分けを行う。

チェック結果	出力先	項目番号	エラーコード
注意喚起 (続行可)	画面	—	KCMN1019Si または KCMN1020Si
エラー (続行不可)	画面	—	KCMN1018Se
	ファイル	H04	KCMN1018SE

注 1 1

【前提】

本チェックについては、操作ユーザが法人IBユーザの場合（法人IBからの操作の場合）のみ行う。

パターン No	概要	一括記録請求における各機能の利用状況			利用状況における、オプション、企業情報の登録内容						その他条件
		詳細			金融機関申込			企業情報管理の設定値			
		取引一回当たり 限度額管理機能	同一ユーザによる 仮登録/承認の 抑止機能	承認管理機能 (承認者指定の 利用)	取引一回当たり 限度額管理機能	同一ユーザによる 仮登録/承認の 抑止機能	承認管理機能	同一ユーザによる 仮登録/承認の 抑止機能の 利用有無	承認管理機能の 利用有無	一括業務の 「承認機能区分」	
1	全ての機能を利用し、シングル承認の場合	○	○	○ (1名指定)	利用する	利用する	利用する	利用する	利用する	シングル承認 (承認者指定あり)	
2	全ての機能を利用し、ダブル承認の場合	○	○	○ (2名指定)	利用する	利用する	利用する	利用する	利用する	「ダブル承認 (順序なし)」または「ダブル承認 (順序あり)」	「ダブル承認 (順序あり)」の場合、一次承認者に関するファイル全体 (取引一回当たり限度額) のチェックは行わない。
3	限度額管理機能と同一ユーザによる仮登録/承認の抑止機能を利用する場合	○	○	×	利用する	利用する	利用する	利用する	利用する	シングル承認 (承認者指定なし)	
							利用しない	利用する	—	—	
4	限度額管理機能のみ、利用する場合	○	×	×	利用する	利用する	利用する	利用しない	—	—	
						利用しない	利用しない	—	—		
5	同一ユーザによる仮登録/承認の抑止機能と承認管理機能を利用し、シングル承認の場合	×	○	○ (1名指定)	利用しない	利用する	利用する	利用する	利用する	シングル承認 (承認者指定あり)	

6	同一ユーザによる仮登録/承認の抑止機能と承認管理機能を利用し、ダブル承認の場合	×	○	○(2名指定)	利用しない	利用する	利用する	利用する	利用する	「ダブル承認(順序なし)」または「ダブル承認(順序あり)」
7	同一ユーザによる仮登録/承認の抑止機能のみ、利用する場合	×	○	×	利用しない	利用する	利用する	利用する	利用する	シングル承認(承認者指定なし)
							利用しない	利用する	-	-
8	全ての機能を利用しない場合	×	×	×	利用しない	利用する	利用する	利用しない	-	-
						利用しない	利用しない	-	-	-

【凡例】

○：当該機能を利用する。()内は、承認管理機能において、指定承認者として指定する承認者数を示す。

×：当該機能を利用しない

-：企業情報にて登録不可能。当該パターンとしては「利用しない」と同等の挙動となる。

注13

パターンNo	金融機関オプションの申込状況				
	ダイヤルアップ集配機能の利用有無	ダイヤルアップ集配機能のサブオプション			
		一括記録請求ファイルの上限値引き上げ機能	一括記録請求ファイルの上限値設定機能	一括記録請求ファイルへのマルチ口座設定機能	ダイヤルアップ集配信におけるマルチ契約口座伝送機能
1	利用する	利用する	利用する	利用する	
2				利用しない	
3				利用する	
4			利用しない		
5			利用しない	利用しない	利用する
6					利用しない
7		利用する			
8		利用しない	利用しない	利用する	利用しない
9					利用する
10					利用しない
11				利用する	
12				利用しない	